

しずおかけんの地域経済計算でみる経済の動向

企画広報部 統計利用課

はじめに

「しずおかけんの地域経済計算」は、地域別及び市町別に、経済規模、経済成長率、経済構造、所得などを、時系列で明らかにすることを目的として、「静岡県の県民経済計算」で推計した県全体のGDPを様々な統計や業務資料を用いて分割する方法により計算し、毎年公表しております。なお、最新版であります「平成23年度しずおかけんの地域経済計算」の概要は表1のとおりです。

今回の特集におきましては、平成13年度から平成23年度までの本県の地域経済の動向について、「しずおかけんの地域経済計算」及び国等の統計データを用いて検討いたしました。今後、関係の皆様が行政施策の企画立案や地域経済の分析など各分野で幅広く「しずおかけんの地域経済計算」を御活用いただければ幸いです。

「しずおかけんの地域経済計算」の詳細なデータについては、静岡県統計情報ホームページ「統計センターしずおか」(URL <http://toukei.pref.shizuoka.jp/>)で公表中です。

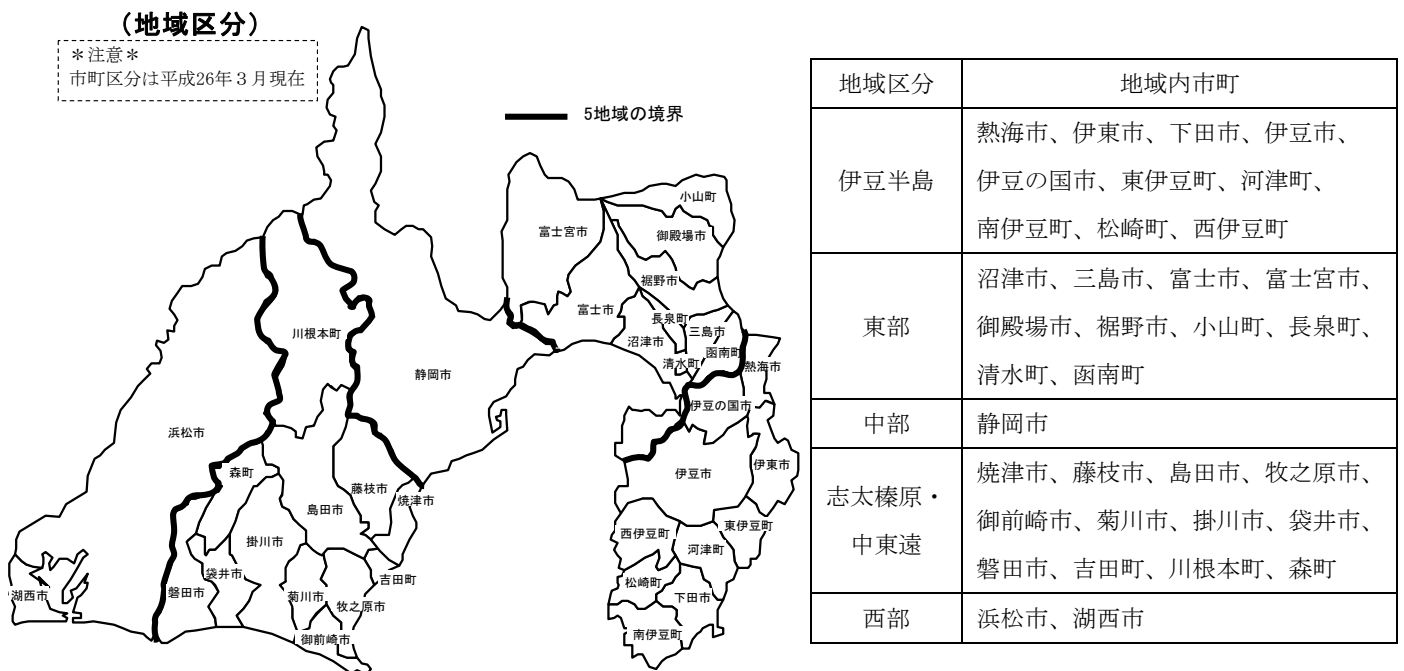


表1 静岡県の地域経済計算の主要指標 (平成23年度)

項目	伊豆半島	東部	中部
生産面			
地域別総生産(名目)	8170億円	3兆8379億円	3兆887億円
経済成長率	+1.4%	+2.5%	-2.1%
分配面			
地域別所得(要素費用表示)	6361億円	3兆1019億円	2兆5383億円
人口一人当たり地域別所得	239万9千円	318万3千円	355万2千円
対前年度増加率	+1.4%	-0.5%	+0.8%

志太榛原・中東遠	西部	県合計
4兆3492億円	3兆4715億円	15兆5642億円
-1.5%	+1.7%	+0.2%
2兆9419億円	2兆6354億円	11兆8536億円
313万1千円	306万9千円	316万2千円
+0.9%	+1.0%	+0.7%

1 本県地域経済の推移

表2は、本県の地域別の総生産の推移を表したものである。

- ・伊豆半島を除く各地域は、平成18～19年度にピークとなり、平成20～21年度に大きく落ち込んだ後、平成22年度から回復傾向にある。国、東海4県及び本県全体も同様な傾向を示しており、各地域の経済が、リーマンショックによる景気後退の影響を大きく受けたことが分かる。
- ・他方、伊豆半島地域は、他の地域と異なり、ピークが平成13年度であり、それ以降経済規模が縮小傾向にある。このことから、リーマンショック以外にも地域経済が低下する要因が存在していることが伺える。

表2 地域別の総生産の推移

単位：十億円

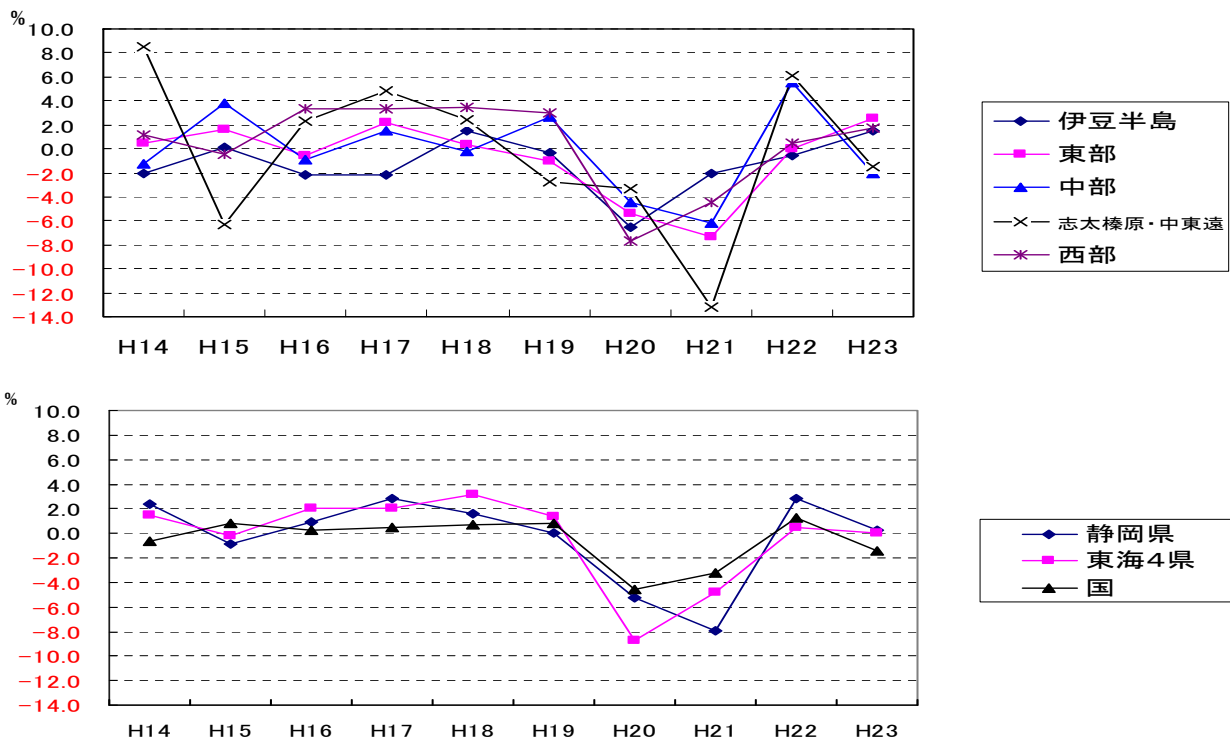
地域区分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
伊豆半島	933	914	914	894	874	887	884	826	810	805	817
東部	4,148	4,167	4,233	4,211	4,301	4,314	4,268	4,039	3,743	3,744	3,838
中部	3,163	3,122	3,242	3,211	3,260	3,251	3,337	3,187	2,988	3,153	3,089
志太榛原・中東遠	4,563	4,951	4,637	4,746	4,978	5,100	4,959	4,794	4,161	4,416	4,349
西部	3,367	3,405	3,389	3,502	3,620	3,745	3,856	3,558	3,398	3,414	3,471
静岡県	16,174	16,559	16,415	16,563	17,033	17,297	17,304	16,405	15,099	15,533	15,564
東海4県	64,064	65,025	64,877	66,216	67,539	69,695	70,650	64,492	61,379	61,679	61,661
国	501,711	498,009	501,889	502,761	505,349	509,106	513,023	489,520	473,934	480,098	473,283

※「東海4県」とは、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県のことを示す。

図1は、本県の地域別の経済成長率の推移を示したものである。

- ・経済成長率が最も低かったのは、伊豆半島と西部の2地域が平成20年度であり、他の地域は平成21年度である。また、本県全体では平成21年度が最も低く、国及び東海4県では平成20年度が最も低くなっている。これらの差異は、産業構造の違い等により、リーマンショックによる景気後退の影響を受けた時期が、地域によって異なるためと考えられる。
- ・志太榛原・中東遠地域の経済成長率は、他の地域と比較して増減幅が大きい。この地域は、他の地域と比較して、経済の変動要因の影響を受けやすい産業構造となっていることが伺える。
- ・各地域の産業構造については、次項目で検討する。

図1 地域別の経済成長率（名目）の推移



2 各地域の産業構造

(1) 総生産に占める産業別生産額の構成比

図2及び表3は、平成23年度の総生産^{※注}に占める産業別（経済活動別）生産額の構成比（産業別シェア）を、地域別に表したものである。

- ・本県と国及び東海4県を比較すると、本県は製造業の割合が高い。サービス業等の割合は、本県と東海4県は同程度である。
- ・また、各地域と県全体を比較すると、東部及び西部地域は、比較的県全体の構成比に近い。伊豆半島地域は、サービス業等の割合が大きく、製造業の割合が小さい。中部地域は、金融・保険業の割合が大きく、製造業の割合が小さい。また、志太榛原・中東遠地域は、製造業が盛んな本県の中でも、製造業の割合が特に大きい。

図2 総生産に占める産業別生産額の構成比（平成23年度）

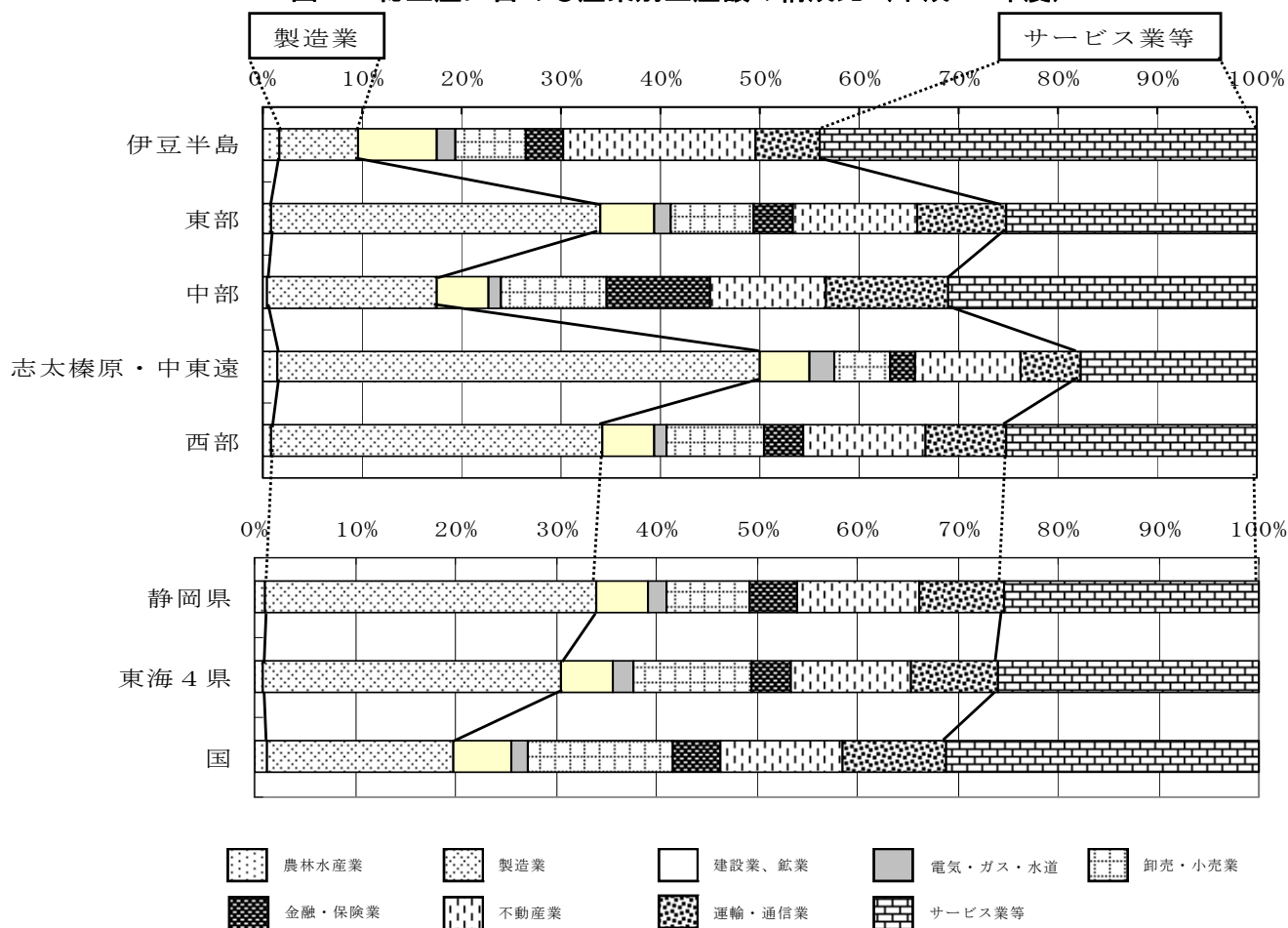


表3 総生産に占める産業別生産額の構成比（平成23年度）

単位：%

地域区分	農林水産業	製造業	建設業、鉱業	電気・ガス・水道業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	運輸・通信業	サービス業等	小計
伊豆半島	1.7	7.9	8.0	1.7	7.1	3.9	19.2	6.6	43.9	100.0
東部	0.8	33.2	5.4	1.6	8.4	3.9	12.6	8.8	25.3	100.0
中部	0.5	17.1	5.1	1.3	10.6	10.4	11.6	12.3	31.1	100.0
志太榛原・中東遠	1.5	48.5	4.9	2.6	5.5	2.5	10.7	5.9	17.7	100.0
西部	0.9	33.2	5.2	1.2	9.9	3.8	12.4	8.1	25.2	100.0
静岡県	1.0	33.0	5.3	1.8	8.3	4.8	12.2	8.4	25.3	100.0
東海4県	0.8	29.8	5.0	2.1	11.8	3.9	11.9	8.7	26.1	100.0
国	1.2	18.6	5.7	1.8	14.3	4.9	12.1	10.3	31.1	100.0

※注 本表は、総生産（輸入品に課される税・関税及び総資本形成に係る消費税を除く。）に占める経済活動別生産額の構成比（割合）を地域別に示したものである。

本表のサービス業等とは、サービス業、政府サービス生産者及び対家計民間非営利サービス生産者である。国の産業別生産額の構成比は、暦年値により計算されたものである。

(2) 各地域の主要産業

表4は、平成23年度における各地域の主要産業（総生産に占める産業別生産額の構成比の上位3産業）を示したものである。

- ・伊豆半島を除く全ての地域で、製造業及びサービス業等が、第1位または第2位となっている。
- ・伊豆半島地域は、サービス業等は第1位であるが、第2位は不動産業、第3位は建設業、鉱業であった（製造業は第4位）。

表4 総生産に占める産業別生産額の構成比の上位3産業(平成23年度)

単位：%

地域区分	第1位		第2位		第3位		構成比 上位2位計	構成比 上位3位計
	産業	構成比	産業	構成比	産業	構成比		
伊豆半島	サービス業等	43.9	不動産業	19.2	建設業、鉱業	8.0	63.1	71.1
東部	製造業	33.2	サービス業等	25.3	不動産業	12.6	58.5	71.1
中部	サービス業等	31.1	製造業	17.1	運輸・通信業	12.3	48.2	60.5
志太榛原・中東遠	製造業	48.5	サービス業等	17.7	不動産業	10.7	66.2	77.0
西部	製造業	33.2	サービス業等	25.2	不動産業	12.4	58.4	70.8
県	製造業	33.0	サービス業等	25.3	不動産業	12.2	58.2	70.4

(注) 平成13～23年度の全期間を通じて、各地域とも、第1位と第2位の産業は変わらなかった。

(第3位の産業は、伊豆半島地域、中部地域及び西部地域については、年度により入れ替わった。)

3 各地域の人口一人当たり所得

表5は、人口一人当たり所得を地域別に示したものである。

- ・中部地域は、3,552千円と最も高い。また、伊豆半島以外の地域は3,000千円を超えている。
- ・伊豆半島以外の地域は、国の2,715千円、東海4県の3,012千円を超えている。さらに、東部地域の3,183千円及び中部地域の3,552千円は、本県の一人当たり県民所得の3,162千円も超えている。
- ・なお、志太榛原・中東遠地域と西部地域についてみると、平成20年度までは、西部地域が志太榛原・中東遠地域を上回っていたが、平成21年度以降は、志太榛原・中東遠地域が西部地域を上回っている。西部地域は、リーマンショックによる景気後退の影響が志太榛原・中東遠地域より大きく、その後の回復も、志太榛原・中東遠地域より緩やかであることが伺える。

表5 人口一人当たり所得

単位：千円

地域区分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
伊豆半島	2,718	2,688	2,604	2,664	2,620	2,663	2,659	2,468	2,369	2,367	2,399
東部	3,280	3,380	3,355	3,427	3,555	3,608	3,597	3,307	2,984	3,198	3,183
中部	3,497	3,657	3,659	3,740	3,813	3,867	3,859	3,592	3,410	3,523	3,552
志太榛原・中東遠	3,066	3,177	3,179	3,219	3,325	3,354	3,383	3,162	2,875	3,102	3,131
西部	3,129	3,388	3,449	3,488	3,513	3,556	3,546	3,265	2,864	3,040	3,069
静岡県	3,178	3,319	3,323	3,385	3,469	3,511	3,514	3,259	2,970	3,141	3,162
東海4県	3,200	3,249	3,263	3,332	3,375	3,442	3,488	3,082	2,929	3,009	3,012
国	2,883	2,855	2,883	2,897	2,929	2,958	2,978	2,773	2,689	2,752	2,715

注意：地域別人口一人当たり所得は、企業の所得などを含む地域経済全体の水準を表す指標であり、個人の給与や実収入を表す値ではないので、他の地域と比較する際には注意が必要です。

表6は、人口一人当たり所得の対前年度増加率を地域別に示したものである。

- ・平成20年度から平成21年度にかけて、各地域の対前年度増加率が大幅に減少している。国、東海4県及び本県の人口一人当たり所得も同様の傾向を示しており、各地域の経済がリーマンショックによる景気後退の影響を大きく受けたことが分かる。なお、本県及び本県内の各地域は、平成22年度以降は、総じて回復傾向にある。

表6 人口一人当たり所得対前年度増加率

単位：%

地域区分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
伊豆半島	-	△ 1.1	△ 3.1	2.3	△ 1.6	1.6	△ 0.2	△ 7.2	△ 4.0	△ 0.1	1.4
東部	-	3.1	△ 0.8	2.1	3.8	1.5	△ 0.3	△ 8.1	△ 9.7	7.2	△ 0.5
中部	-	4.6	0.0	2.2	2.0	1.4	△ 0.2	△ 6.9	△ 5.1	3.3	0.8
志太榛原・中東遠	-	3.6	0.1	1.3	3.3	0.9	0.9	△ 6.5	△ 9.1	7.9	0.9
西部	-	8.3	1.8	1.1	0.7	1.2	△ 0.3	△ 7.9	△ 12.3	6.2	1.0
静岡県	-	4.4	0.1	1.9	2.5	1.2	0.1	△ 7.2	△ 8.9	5.7	0.7
東海4県	-	1.5	0.4	2.1	1.3	2.0	1.3	△ 11.6	△ 5.0	2.7	0.1
国	-	△ 1.0	1.0	0.5	1.1	1.0	0.7	△ 6.9	△ 3.0	2.3	△ 1.3

4 市町別総生産額及び人口一人当たり市町民所得

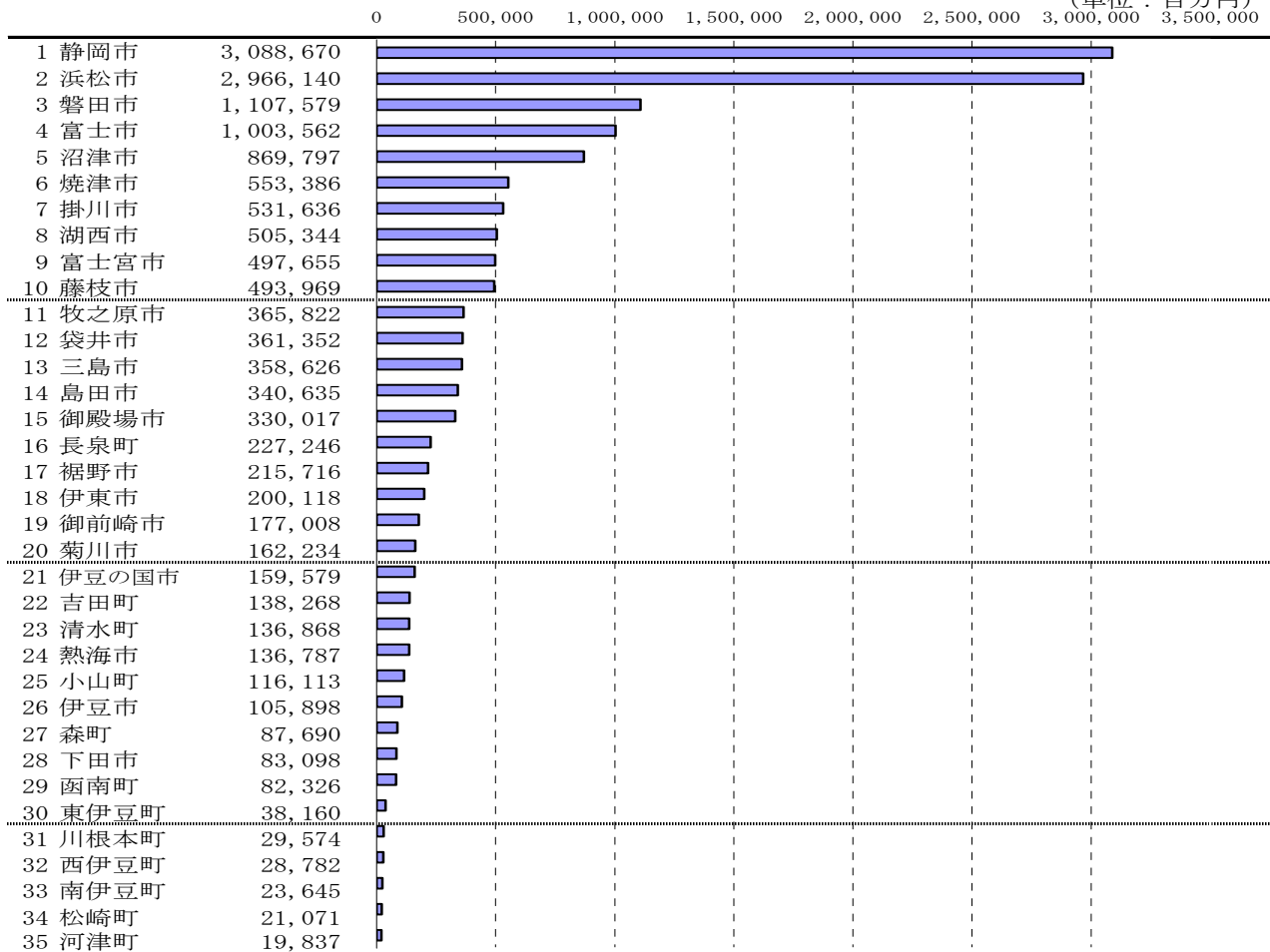
(1) 市町別総生産額

図3は、市町別総生産額を示したものである。

- ・静岡市が3兆887億円で最も大きく、上位5市で県内総生産の約58%を占める。
- ・静岡市と浜松市で県内総生産の約39%を占める。

図3 市町別総生産額（平成23年度）

（単位：百万円）



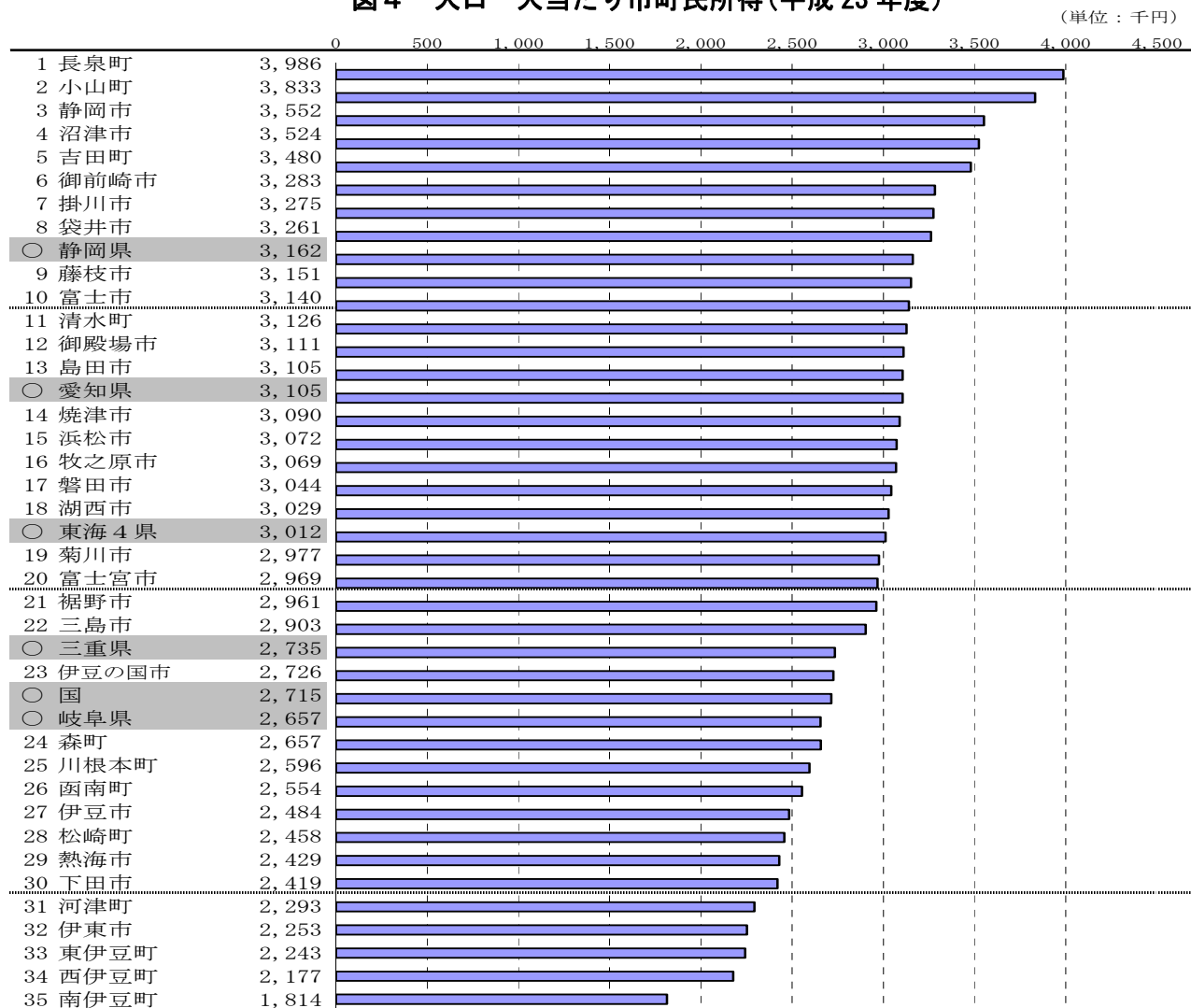
静岡県合計 15,564,207 百万円

(2) 人口一人当たり所得

図4は、人口一人当たり市町民所得を示したものである。(比較のため、国、東海4県、岐阜県、本県、愛知県及び三重県の人口一人あたり所得も、併せて表示している。)

- ・長泉町が398万6千円で最も高い。
- ・8市町が本県の一人当たり県民所得を上回った。
- ・18市町が、東海4県の人口一人あたり所得を上回った。
- ・23市町が一人当たり国民所得を上回った。

図4 人口一人当たり市町民所得(平成23年度)



注意：人口一人当たり市町民所得は、企業の所得などを含む市町民経済全体の水準を表す指標であり、個人の給与や実収入を表す値ではないので、他の市町と比較する際には注意が必要です。